

とうげいきょうしつ ぽたり  
**陶芸教室 穂多里**



1991年に西部障がい者福祉総合センターの事業のひとつとして陶芸教室があり、脳卒中の後遺症からの機能回復・リハビリを目的に始まった。1994年に一般公募によってグループ名が「穂多里」になる。

1995年、初心者陶芸教室が開始。1999年、西部障がい者福祉総合センターから都市農業公園へと拠点を

引っ越す。その後、足立区を中心に様々なイベントで出品、販売、講習会などを行い、精力的に活動をしている。

**主な年間活動スケジュール**

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1月 定期活動のみ             | 7月 夏休み子ども教室           |
| 2月 体験教室               | 8月 定期活動のみ             |
| 3月 体験教室               | 9月 体験教室               |
| 4月 都市農 春の花まつり<br>作品販売 | 10月 都市農 秋の収穫祭<br>作品販売 |
| 5月 体験教室               | 11月 体験教室              |
| 6月 体験教室               | 12月 体験教室              |

**代表の白鳥さんから**

私たち障がい者にとって残念な事は、どんなに本人が楽しく活動していても、体調を崩して通うことが難しくなったり、入院することになってしまったりと、10年近くの長い間、活動を続けることが難しいということです。我々の仲間でも3~4年で活動をやめてしまった人が多いのが現状です。

自分たちの生活の中で何とかしてみんなで知恵を出し、長く続けやすい活動にしていきたいのです。



**ほっけん!  
 足立おもしろ物づくり**

足立区で素敵なおもしろ物づくりをされている方・お店を都市農・工房棟チームがレポート!



都市農業公園の陶芸教室に工房棟のスタッフがお邪魔し、インタビューしてきました!

とうげいきょうしつ  
**陶芸教室**  
 ぽたり  
**穂多里**





# 陶芸教室にインタビュー!



取材者  
かけはし

## 陶芸体験の様子を見てみよう



### 穂多里の活動

登録者15名（障がいをお持ちの方8名・ボランティアの方7名）で活動しています。  
作業日は毎週、月・金曜日と、第2・4・5週の水曜日です。  
陶芸を通して「より元気に動けるように」をモットーに活動しています。

### どんな作品を作ってますか？

「花瓶」「ごはん茶碗」「湯呑み」「小皿」などの作品が多いですが、中には「靴」とか「クリスマスツリー型ランプシェード」とか、作者が作りたいものを自由に作っています。



みんな個性的!



### 活動資金のための作品販売

都市農業公園では、4月の「春の花まつり」10月の「秋の収穫祭」でそれぞれ2日ずつ、販売会を開催しています。また、活動日に陶芸室の前で作品を販売したり、公園内交流館のマルシェ（野菜販売ブース）で野菜のデザインの箸置きを置いて販売しています。作品の売り上げが大事な活動資金になります。



### 足立区初心者陶芸体験教室について

コロナ禍より前は、年に11回の体験教室と、7月の「夏休み子ども体験」を2回実施していました。  
1月と8月は教室がありませんが、ほぼ毎月第3土曜日に、32名の参加者を「足立区障害福祉センターあしすと」経由で募っています。



土づくり

最近は購入した土が硬くて使えないということはほとんどないけれど、やわらかさは自分で水などを混ぜて調整します。



型づくり

自分の作陶する型に粘土の大きさを合わせ、平らにして切ります。お皿や大きな丼など色々できます。



型つくり

型づくりした粘土で立体的な模様をくっつけてみたりもできます。



棒っぽの形にしこったり



独創的なお皿ができました!



型つくり

ろくろを使ったり、のし棒を使ったりして形を作っていきます。



乾燥

高台を削ったり、形を削って調整したら、1週間ほど乾かします。棚にはみなさんの作品がいっぱい。



焼き

部屋の奥には大きな窯が...!ここで素焼きをしたり、本焼きをして作品を完成させていきます!



完成まであとすこし...  
高台を削ってるよ!

体験教室のお問い合わせは  
足立区障害福祉センター「あしすと」  
社会リハビリテーション室まで  
お電話：03-5681-0131

